

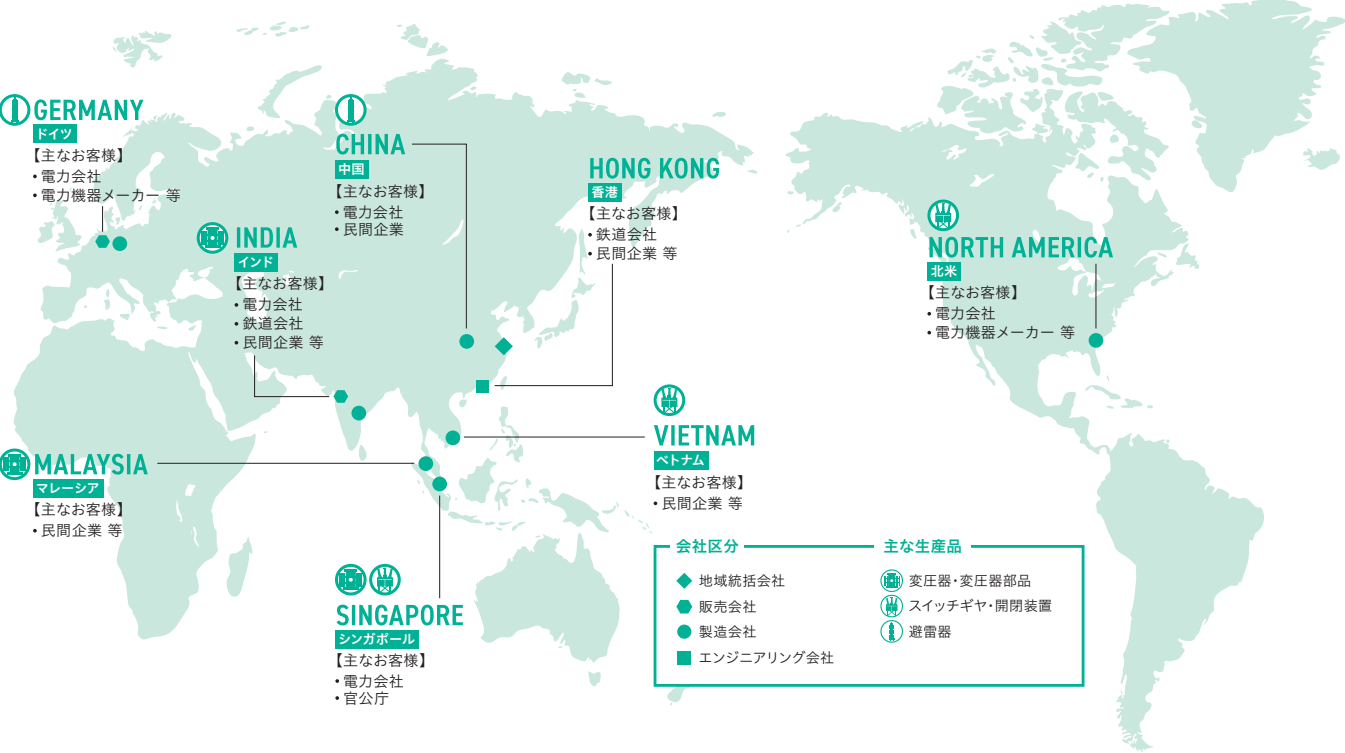
海外変電事業の展開

海外変電事業の現在地と今後の展開

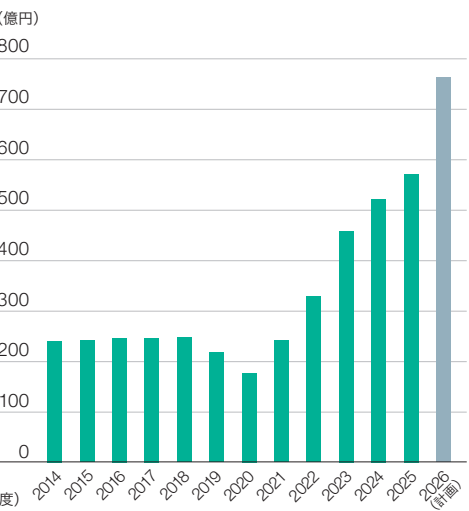
明電グループの海外変電事業は1960年代半ばに始まり、東南アジアを中心に、現地に根差した「地産地消」の事業展開で電力インフラの近代化需要に対応し、高品質な変電設備を供給してきました。2010年代以降は、欧州・北米にも生産拠点を構え、特に、環境負荷の低い製品開発と現地販売パートナーと

の協業により、競争力を強化しています。昨今では、AI普及やデータセンター増加に伴う電力需要の急増により、世界的な電力設備の増強が急務となり、新たな事業機会が拡大しています。今後も、グローバルな視点と地域に根ざした事業活動を通じて、持続可能な電力インフラの構築に貢献していきます。

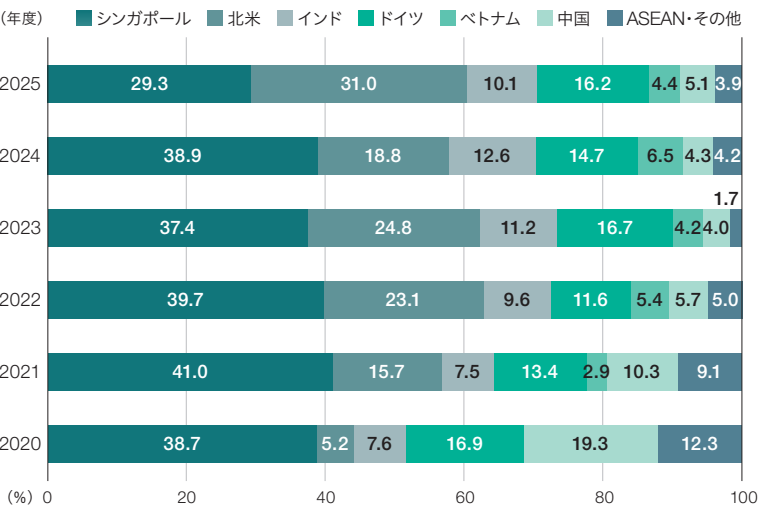
変電事業 海外拠点マップ



変電事業の成長(売上高推移)



海外地域別売上高比率(変電事業内訳)



主要地域における成長戦略

シンガポール



変圧器・スイッチギヤ

1975年の設立当初から、現地に工場を有するメーカーとして長年にわたり構築してきた顧客基盤と現地サービス力を強みに、安定した収益源として事業を展開しています。電力品質に対する高い要求水準と設備の継続的な更新需要を背景に、受注環境は堅調に推移しています。今後は2028年度に予定する工場移転を契機に生産効率の向上と供給力強化を図るとともに、電力設備更新における環境対応製品への移行需要の取り込みを進めます。

インド



変圧器

インド国内トップクラスのシェアを持つ太陽光・風力発電向け変圧器を主力とし、需要地密着型の高品質製品と現地生産体制を強みに事業を展開しています。旺盛な電力需要を背景にインフラの新設投資が拡大しています。加えて、2024年度に受注したインド高速鉄道案件の売上計上を着実に進めるとともに、インド送電公社向けビジネスに参入し、変圧器事業の国際競争力強化に向けた重要拠点として事業規模の拡大を図ります。

北米



真空遮断器・真空インタラプタ

真空製品における高い技術力と先行した納入実績を背景に、市場で優位な競争力を有しています。SF₆ガス規制強化を主たる追い風に、電力需要の増加や設備更新需要が重なり、真空遮断器及び真空インタラプタの需要は拡大を続けています。真空遮断器では123kV機種の投入によるラインアップ拡充に加え、リクローザー向け真空インタラプタでも新機種の採用拡大を進め、高付加価値製品により事業規模の拡大と収益性向上を図ります。

ドイツ



避雷器

世界120か国以上に累計500万台超の納入実績と短納期での生産体制を有しており、各地域でのパートナーシップを強みに、市場で高い競争力を有しています。世界的な電力インフラ投資が継続する中、安定生産とコスト低減の推進により競争力の更なる向上を図ります。加えて、次期中期経営計画に向けた生産能力増強を見据えるとともに、将来的な新規市場への展開も視野に、北米・南米など海外市場への事業拡大を図ります。

「中期経営計画2027」の成長投資の進捗

「中期経営計画2027」の中でも大きな割合を占める海外変電事業に対する成長投資は、着実に進捗しています。アメリカでは真空遮断器(生産能力:2024年度比2倍)、インドでは変圧器(生産能力:同1.2倍)の生産能力増強を図りました。加えて、今中期経営計画後半から次期中期経営計画期間に向けて、国内変圧器工場の能力増強やシンガポール工場の移転、

欧州における真空遮断器製造拠点の立ち上げ検討などを進めており、グローバルでの供給体制の強化を図っています。また、今中期経営計画開始前には沼津事業所において真空インタラプタの生産能力を2024年度比2倍に増強しており、需給逼迫下での供給力強化を通じて足元の業績伸長に寄与しています。

